
2021年度第1四半期（4～6月）決算について

2021年7月30日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□第1四半期 連結経営成績・財政状態	．．．	2
□第1四半期 連結決算の概要	．．．	3
□2021年度 連結業績予想	．．．	4
□2021年度 配当予想	．．．	5
□参考資料	．．．	6

■ 第1四半期 連結経営成績・財政状態

経営成績 (累計)

(単位：億円)

	当第1四半期(A)	前第1四半期(B)※	増減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%
売上高	1,281	1,308	△ 27	△ 2.1
営業利益	167	245	△ 77	△ 31.8
経常利益	137	217	△ 80	△ 37.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	96	185	△ 89	△ 48.0
1株当たり四半期純利益	45円32銭	88円67銭	△ 43円35銭	

※ 2021年度第1四半期から、収益認識会計基準等の適用に伴い、電気事業会計規則が改正され、再生可能エネルギー固定価格買取制度に関する影響額については、収益・費用計上の対象外となりました。
本資料に記載の2020年度第1四半期実績については、上記変更を遡及適用し組み替えて表示しております。

財政状態

(単位：億円)

	当第1四半期末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
総資産	20,076	20,016	60
純資産	2,936	2,897	39
自己資本比率	14.0%	13.8%	0.2%

■ 第1四半期 連結決算の概要

売上高 (減収)	昨年11月から12月にかけての燃料価格の低下に伴う燃料費調整額の減少などにより、前年同期に比べ27億円減少の1,281億円となりました。
経常利益 (減益)	水力発電量の増加による燃料費の減少などはありませんでしたが、本年4月以降の燃料価格の上昇に伴う収支の悪化などにより、前年同期に比べ80億円減少の137億円となりました。
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	前年同期に比べ89億円減少の96億円となりました。

■ 2021年度 連結業績予想

- 当期の業績につきましては、至近の収支動向を踏まえ、2021年4月28日に公表した連結業績予想を修正いたしました。
- ・小売販売電力量は、当第1四半期では概ね計画どおり推移していることから、4月公表値と同程度になる見込みです。
 - ・売上高につきましては、燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増加などにより、4月公表値に比べ250億円増加の6,000億円程度となる見通しです。
 - ・利益につきましては、燃料価格の上昇に伴う収支の悪化はあるものの、水力発電量の増加による燃料費の減少もあることから、4月公表値と同程度となる見通しです。

(単位：億円、億kWh)

	2021年度見通し			今回見通し 対前年度増減(※)
	今回公表 (A)	4月公表 (B)	増減 (A)-(B)	
売上高	6,000程度	5,750程度	250程度	150程度
営業利益	330程度	330程度	同程度	△210程度
経常利益	230程度	230程度	同程度	△180程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	200程度	200程度	同程度	△160程度
(対前期増減率) 小売販売電力量	(△1.1%程度) 224程度	(△1.1%程度) 224程度	同程度	△ 3程度

【主要諸元】

為替レート (円 / \$)	110程度	110程度	同程度	4程度
原油CIF価格 (\$ / bbl)	70.0程度	60.0程度	10.0程度	27.0程度

2021年度第1四半期から、収益認識会計基準等の適用に伴い、電気事業会計規則が改正され、再生可能エネルギー固定価格買取制度に関する影響額について、収益・費用計上の対象外となります。

※なお、対前年度増減は、2020年度実績について上記変更を適用したものと仮定して算定しております。

[新型コロナウイルス感染症の影響] 2021年度の新型コロナウイルス感染症の影響により、北海道内の景気は引き続き厳しい状況にあるため、小売販売電力量において、△4億kWh程度と見込んでいます。

■ 配当（2021年度 配当予想）

2021年度の間・期末配当予想につきましては、2021年4月28日に公表した数値から変更はありません。

【2021年度 配当予想（1株当たり配当金）】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2020年度 (実績)	5円	15円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円
2021年度 (予想)	10円	10円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円

■ 参考資料

- ・連結収支比較表（全体）
- ・連結対象会社
- ・販売電力量（連結）
- ・供給電力量（連結）
- ・連結収支比較表（収益）
- ・連結収支比較表（費用・経常利益）
- ・連結セグメント情報
- ・連結経常利益の変動要因（対前年同期比較）

業績予想

- ・連結経常利益の変動要因（対前年度比較）

(白紙)

連結決算－収支比較表

(単位：億円)

		当第1四半期 連結累計期間 (A)	前第1四半期 連結累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
経常収益	営業収益 (売上高)	1,281	1,308	△ 27	△ 2.1
	電気事業営業収益	1,201	1,232	△ 30	△ 2.5
	その他事業営業収益	79	76	3	4.7
	営業外収益	18	5	12	217.8
合 計		1,299	1,314	△ 14	△ 1.1
経常費用	営業費用	1,114	1,063	50	4.8
	電気事業営業費用	1,043	994	49	4.9
	その他事業営業費用	70	69	1	2.1
	営業外費用	48	33	15	46.2
合 計		1,162	1,096	65	6.0
[営業利益]		[167]	[245]	[△ 77]	[△ 31.8]
経常利益		137	217	△ 80	△ 37.1
渴水準備金引当又は取崩し		4	△ 2	6	—
税金等調整前四半期純利益		133	220	△ 87	△ 39.7
法人税等		36	35	0	1.2
四半期純利益		96	184	△ 87	△ 47.6
非支配株主に帰属する四半期純損益		0	△ 0	1	—
親会社株主に帰属する四半期純利益		96	185	△ 89	△ 48.0
(参考)	四半期包括利益	83	192	△ 108	△ 56.6

連結子会社		持分法適用会社
北海道電力ネットワーク(株)	北海道電気工事(株)	北電総合設計(株)
北電興業(株)	北海道パワーエンジニアリング(株)	(株)ほくでんアソシエ
苫東コールセンター(株)	ほくでんエコエナジー(株)	石狩LNG棧橋(株)
ほくでんサービス(株)	北海道総合通信網(株)	
ほくでん情報テクノロジー(株)	北海道電力コクリエーション(株)	

連結決算－販売電力量

- ・小売販売電力量は、新型コロナウイルス感染症の影響の縮小に伴う増加はありましたが、春先の気温が前年同期に比べ高く推移したことによる暖房需要の減少などから、合計で5,025百万kWh、対前年伸び率△1.3%となりました。（新型コロナウイルス感染症による影響：△1億kWh程度）
- ・他社販売電力量は、積極的な卸販売の実施や再生可能エネルギーの固定価格買取制度に伴う販売量の増加などから、合計で1,377百万kWh、対前年伸び率67.4%となりました。

(単位：百万kWh)

		当第1四半期 連結累計期間 (A)	前第1四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%	
小 売	低 圧	電 灯	2,007	2,104	△ 97	△ 4.6
		電 力	370	377	△ 7	△ 1.8
		計	2,377	2,481	△ 104	△ 4.2
	高圧・特別高圧		2,629	2,592	37	1.4
	小計(※1)		5,006	5,073	△ 67	△ 1.3
	その他(※2)		19	16	3	19.8
	合計		5,025	5,089	△ 64	△ 1.3
他社販売電力量		1,377	823	554	67.4	
小売・他社販売電力量合計		6,402	5,912	490	8.3	

※1 小計欄は、北海道電力(株)の販売電力量を示す。

※2 その他欄は、北海道電力ネットワーク(株)および北海道電力コリィーション(株)の販売電力量を示す。

- ・ 泊発電所は全基停止していましたが、出水率が112.1%と平年を上回ったことや、供給設備の適切な運用により、安定した供給を維持することができました。

(単位：百万kWh)

		当第1四半期 連結累計期間 (A)	前第1四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
発電 電 力 量	(出水率%) 水 力	(112.1%) 1,441	(90.0%) 1,153	(22.1%) 288	25.0
	火 力	2,965	3,753	△ 788	△ 21.0
	(設備利用率%) 原 子 力	(-) -	(-) -	(-) -	-
	新エネルギー等	32	40	△ 8	△ 21.8
	計	4,438	4,946	△ 508	△ 10.3
他社受電電力量		2,462	1,526	936	61.5
揚水用		△ 103	△ 89	△ 14	16.3
合 計		6,797	6,383	414	6.5

※他社には、連結子会社の北海道パワーエンジニアリング(株)およびほくてんエコエナジー(株)からの受電電力量が含まれている。

連結収支比較表（収益）

（単位：億円）

	当第1 四半期連結 累計期間 (A)	前第1 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
売 上 高	1,281	1,308	△ 27	△ 2.1	
電気事業営業収益	1,201	1,232	△ 30	△ 2.5	
2社合計※					
電灯・電力料	976	1,079	△102	△ 9.5	・燃料費調整額の減少
そ の 他	229	157	71	45.0	・地帯間・他社販売電力料の増加 ・託送収益の増加
地帯間・他社 販売電力料(再掲)	113	62	51	83.0	
託送収益(再掲)	100	82	18	22.7	
子会社・連結修正	△ 4	△ 4	0	-	
その他事業営業収益	79	76	3	4.7	
営業外収益	18	5	12	217.8	
経常収益	1,299	1,314	△ 14	△ 1.1	

※ 2社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結収支比較表（費用・経常利益）

(単位：億円)

		当第1 四半期連結 累計期間 (A)	前第1 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
電気事業営業費用		1,043	994	49	4.9	
2 社 合 計 ※	人 件 費	136	138	△ 2	△ 2.0	
	燃 料 費	162	190	△ 27	△ 14.6	【増加要因】 ・燃料価格の上昇 ・他社販売電力量の増加
	購 入 電 力 料	188	113	74	65.8	
	修 繕 費	94	83	11	13.9	【減少要因】 ・水力発電量の増加
	減 価 償 却 費	174	176	△ 2	△ 1.3	
	そ の 他 費 用	292	287	5	1.9	
子会社・連結修正		△ 5	4	△ 9	-	
その他事業営業費用		70	69	1	2.1	
営業外費用		48	33	15	46.2	
支払利息(再掲)		23	27	△ 3	△ 12.8	
経常費用		1,162	1,096	65	6.0	
経常利益		137	217	△ 80	△ 37.1	

※ 2社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結決算－セグメント情報

- ・北海道電力セグメントの売上高は、前年同期に比べ73億円減少の1,199億円となり、セグメント損益は水力発電量の増加による燃料費の減少などはありませんでしたが、本年4月以降の燃料価格の上昇に伴う収支の悪化などにより、前年同期に比べ98億円減少の132億円の経常利益となりました。
- ・北海道電力ネットワークセグメントの売上高は、前年同期に比べ42億円増加の557億円となり、セグメント損益は新型コロナウイルス感染症の影響の縮小に伴う売上の増加などにより、前年同期に比べ9億円増加の10億円の経常利益となりました。

(単位：億円)

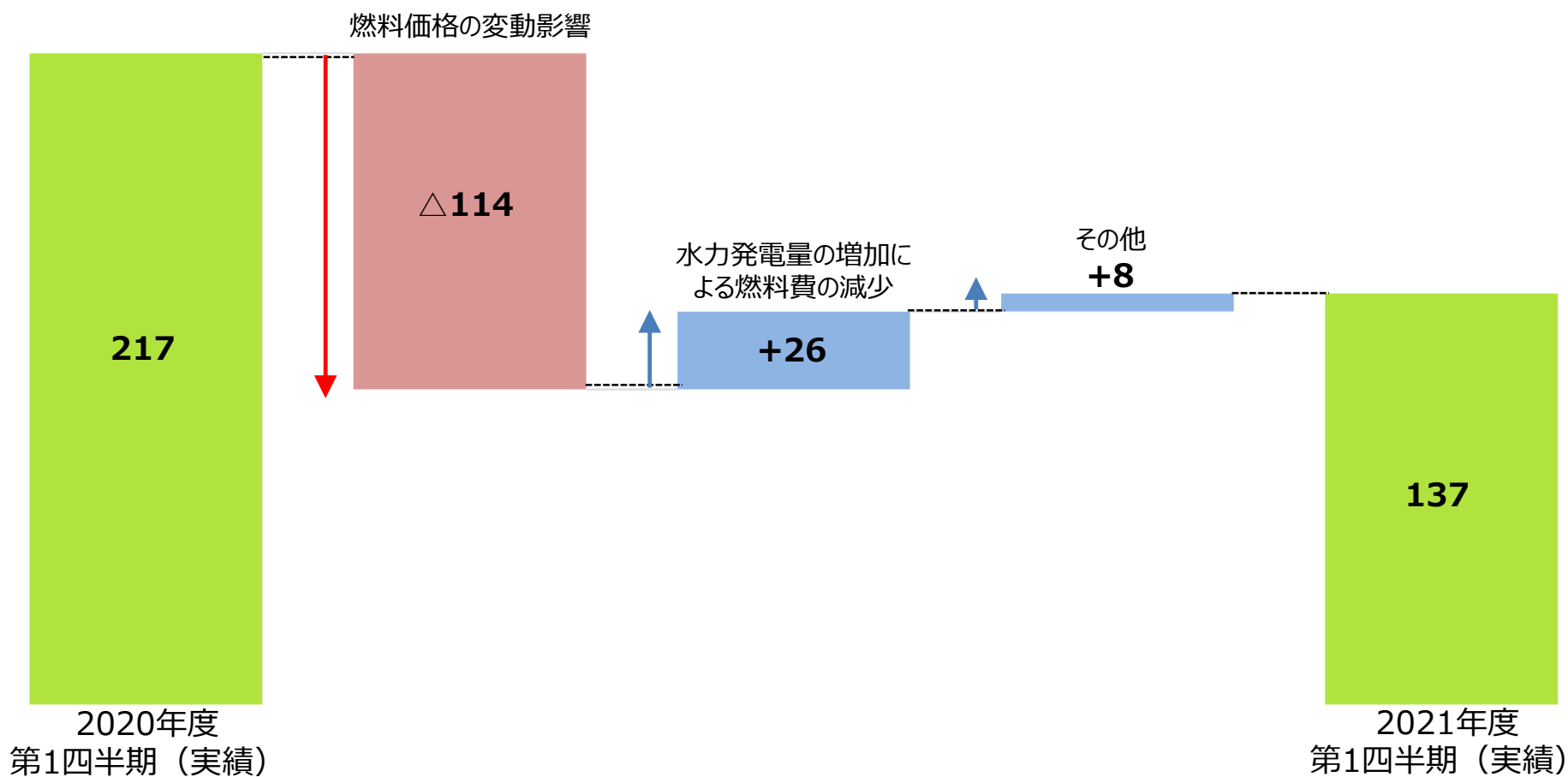
	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減 (A)-(B)
売上高	1,281	1,308	△ 27
北海道電力	1,199	1,273	△ 73
北海道電力ネットワーク	557	514	42
その他 ※1	251	251	0
調整額 ※2	△ 727	△ 730	2
セグメント損益（経常損益）	137	217	△ 80
北海道電力	132	230	△ 98
北海道電力ネットワーク	10	0	9
その他 ※1	9	△ 6	15
調整額 ※2	△ 15	△ 7	△ 8

※1「その他」は、「北海道電力」および「北海道電力ネットワーク」セグメント以外の、その他の連結子会社等の実績である。

※2「調整額」は、連結決算におけるセグメント間取引の消去額である。

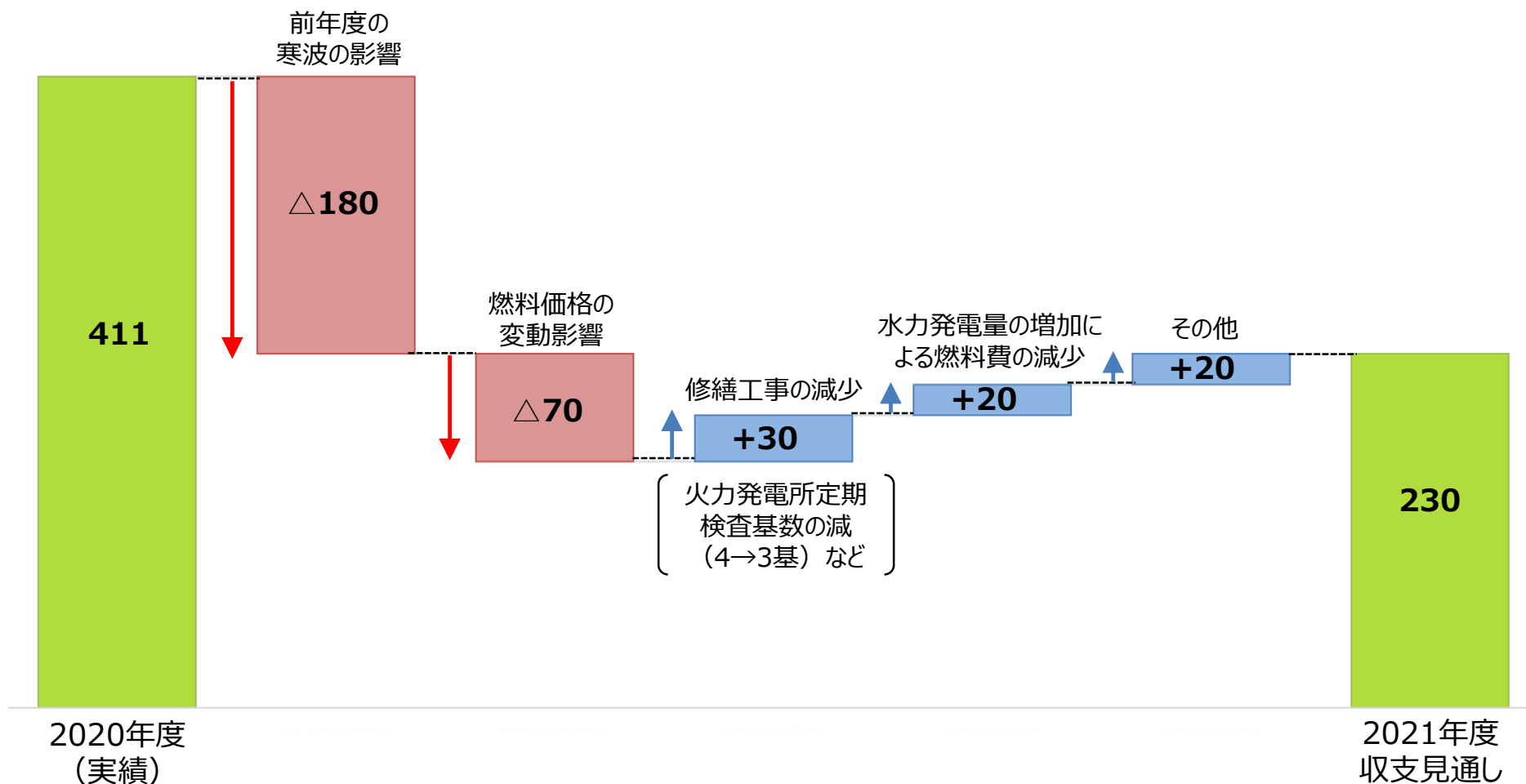
連結決算－経常利益の変動要因（対前年同期比較）

（単位：億円）



2021年度連結業績予想－経常利益の変動要因（対前年度比較）

（単位：億円、億円程度）



(お問い合わせ)
北海道電力(株)広報部広報企画グループ
TEL : 011-251-4076 (直通)